＜2018年＞

●「人間こそ“癌”？―その断片的考察」（NPO 環境文明21 会報）

これは認定NPO法人 環境文明21の会報：2018年1月 Vol.26 NO.1, P14
「みんなのページ」に寄せた一文です

人間こそ“癌”？－その断片的考察

今のままでは都市は地球生態系の癌、人類は生物界の癌細胞、“富裕層”・“権力者”はヒト社会の癌遺伝子。そもそも維持するだけでも至難の巨大産業社会、人同士が争っている場合ではない事ぐらい（まだ受験戦争に巻き込まれていない）中学生なら分かるだろう。では未だにこの地上から軍備も貧困も追放できないのは何故？思春期に、「自制力を伴う」思考力を身に付けることが出来なかった“成長不全”。これが無自覚の傲慢を生み際限なき自己益増殖の引き金を引く癌遺伝子の発現に。世の恣意的な躾ならぬ“天の躾”＝己の命を己の正味の汗で支える体験〈自給自足〉＝に与らなかった事で生ずる“成長不全”。これぞ本当の“育ちの悪さ”というものだ。

都市は勿論、今は農村暮らしでも“天の躾”とまず無縁。“富裕層”・“権力者”の家庭では言わずもがな。天に躾けられると己の等身大の実力を思い知り、他人の流した汗の重さに思いが及ぶ。マネーゲームは貨幣経済を破壊し金融の自殺行為となる事ぐらいすぐ判る…。東京に生まれ育ち天草に移住して46年、稲作も30回を超え“目が覚めた”小生、昨秋不覚にも肺炎を発症し二週間の入院。図らずも恵まれたベッドの上のユックリ時間、この時とばかりに吟味した日頃の思いの一端を綴ってみましたが、現代文明の持続性云々の前に己の持続性が問われマスネ。

中井俊作さん（熊本県天草市）

863-2424 天草市五和町手野1の2646 0969-34-0054
090-1082-8109